

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アムール			
○保護者評価実施期間	令和8年 5月 12日		～	令和8年6月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数)	15人
○従業者評価実施期間	令和8年 6月 10日		～	令和8年 7月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数)	3人
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 5月 12日		～	令和8年 6月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2施設	(回答数)	1施設
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	現在、訪問支援に対して抵抗感を示す子どもはおらず、支援員の訪問を自然に受け入れ、安心して過ごすことができています。日頃から子どもとの信頼関係を大切に、園や学校での普段の生活や活動を尊重しながら関わることで、子どもにとって負担の少ない訪問支援につながっています。	子ども一人ひとりの気持ちやペースに寄り添うことを大切にしています。訪問先での様子や表情、友達や先生との関わりを丁寧に観察し、必要以上に介入することなく、子どもが安心して本来の力を発揮できるよう、その時々状況に応じた関わりを心がけています。	今後も子どもの立場や気持ちを大切に、より適切な訪問支援につなげていきます。そのため、子ども本人とのコミュニケーションを大切にするとともに、訪問先の先生や保護者の情報共有・連携を深め、子どもの思いや状況を多面的に捉えながら、より質の高い支援を行えるよう取り組んでいきます。
2	訪問支援での子どもの様子や活動内容について、保護者へ丁寧に共有することができています。訪問先で見られた成長や頑張り、友達や先生との関わりなどを具体的に伝えることで、保護者が子どもの園や学校での様子を知り、安心していただけるよう努めています。	サービス提供記録の内容を充実させ、訪問時の子どもの様子や活動への参加状況、できたことや成長したことなどを具体的に記録しています。保護者にとって分かりやすい表現を心がけ、子どもの成長や日々の変化をより詳しく共有できるよう工夫しています。	引き続き、保護者とつながる大切なツールとしてアプリを活用し、訪問支援での子どもの様子を丁寧に共有していきます。日々の成長や頑張りを積極的に伝えとともに、保護者からの相談や意見も大切に、双方向のコミュニケーションをより充実させていきます。
3	同じ職員が定期的に訪問し、担任等と継続してコミュニケーションを取ることで、子どもの様子や成長、必要なサポートについて共通理解を深めています。関係者間で方向性を共有し、一貫性のある関わりができるよう取り組んでいます。	職員間で「子どもの視点に立って考えること」を大切にしています。大人側の考えだけで判断するのではなく、子どもがどのように感じているのか、何を伝えようとしているのかを丁寧に捉え、子どもの思いや意思を尊重した関わりにつなげられるよう共有しています。	これまでの考え方や取り組みが固定化しすぎないように、研修や事例検討等の機会を取り入れていきます。新たな知識や多様な視点を学び、職員間で共有することで、子ども一人ひとりの状況や成長に合わせて柔軟に対応できるよう、訪問支援の質の向上に取り組んでいます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先施設や担任等の意向は保育所等訪問支援計画に反映しているが、その経過や具体的な反映内容を、保護者へ十分に伝えきれていない。また、職員によって説明する時期や内容に差が生じる場合があり、事業所として説明方法の統一が必要である。	訪問先施設との話し合いや情報共有は行っているものの、確認した意向や話し合った内容を、保護者へ説明する時期や方法が明確に定められていない。そのため、実際には施設と連携していても、計画にどのように反映されているかが保護者から見えにくく、取組が十分に伝わっていない可能性がある。	計画作成時やモニタリング時に、訪問先施設から確認した意向と、計画へ反映した内容を保護者へ具体的に説明する。訪問後の報告にも、施設と話し合った内容や今後のサポートに生かす点を記載し、職員による説明の差が生じないように、共有方法や報告項目を統一する。
2	家族向けの研修会、子育てに関する情報提供、家族サポートプログラム等について、保護者への周知や提供の機会が十分ではない。また、実施している取組についても、すべての保護者へ継続的に案内できていない部分がある。	日常的には保護者からの相談に応じ、個別の助言や情報提供を行っているが、家族向けの相談会や研修会等を年間の取組として十分に整理できていない。また、開催内容や利用方法を定期的に案内する仕組みが整っておらず、取組の内容が一部の保護者に伝わっていない可能性がある。	家族向けの相談会、研修会、子育てに関する情報提供等を年間計画に位置付ける。メッセージ等を活用して定期的に案内するとともに、保護者の希望や困り事を確認し、ニーズに応じた内容や実施方法を検討する。実施後は保護者の意見を確認し、今後の取組に反映する。
3	訪問の頻度や時間、定期的な面談、子育てに関する助言等について、利用開始後の継続的な確認や案内が一部十分ではない。また、こどもの状況や保護者の希望の変化を確認する方法が、職員間で統一されていない部分がある。	利用開始時には訪問の頻度や時間、面談等について説明しているが、その後のこどもの状況や保護者の希望の変化を確認する時期や方法が明確に定められていない。また、面談や子育てに関する相談を利用できることについて、保護者への継続的な案内が不足している可能性がある。	モニタリングや計画見直しの際に、訪問の頻度や時間、面談の希望、子育てに関する相談の有無を確認する。確認した内容は記録に残して職員間で共有し、こどもの状況や保護者の希望に変化があった場合は、保護者及び訪問先施設と相談しながら内容を調整する。

保護者等向け 保育所等訪問支援評価表

公表日：

事業所名：保育所等訪問支援 アムール

対象人数（保護者）19人 回答者数 15人 回収 78.9%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	12			3
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	14			1
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	15			
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	14		1	
	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	15			
適切な支援の提供	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	15			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）（※1）が作成されていると思いますか。	14	1		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	12			3
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	14	1		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	15			
保護者への説明等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	14	1		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15			
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※2）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	12	1	1	1
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	15			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1		1
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	15			
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15			
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	15			
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	15			
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思えますか。	15			
	22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思えますか。	15			
	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15			
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	15			
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思えますか。	15			
非常時等の対応	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	15			
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	14	1		
満足度	28 事業所の支援に満足していますか。	15			

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8 年 7 月 28 日

アムール

利用児童数

令和8年 6 月 9 日 回収数 1施設

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	○				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	○				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	○				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	○				
5	事業所からの支援に満足していますか。	○				
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
なし						

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
アムール		令和8 年 7 月 28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環 境 制 ・ 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		発達に応じた選定をしている。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		適切な配置を維持し、欠勤があっても代替体制がある。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		定期的に振り返りを行っている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3			
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			